



出中だより

第3号

発行 令和7年12月18日(木)

砺波市立出町中学校

認め合う仲間、響き合う歌声、磨き合う学び

教頭 久保 紀子

今年も残すところあと僅かとなりました。校舎の窓から見える立山連峰も白雪化粧をまとっています。外はすっかり寒いですが、学校は生徒たちの活気に満ちています。2学期も、生徒の成長やいきいきと活躍する姿がたくさんありました。

運動会では、力いっぱい競技に挑む姿、係の仕事に責任をもって取り組む姿、声を枯らして応援合戦の練習をする姿、どうすれば後輩に振り付けを分かりやすく教えることができるか試行錯誤する姿等、一人一人が全力で取り組んでいました。自分が一生懸命取り組んでいると、仲間の頑張りにも気付くことができます。勝ち負けを超え、はじける笑顔で互いに認め合い、称え合う、出中生の温かさを感じました。

和鐘文化祭1日目の合唱コンクールでは、どの学級も心を一つにして歌声を響かせました。音楽の授業や学級での練習の中で話を重ね、時には悩みながら、互いの思いを受け止め合い、よりよい合唱を目指して練習に取り組んできました。本番では、一人一人の思いが、指揮者を見つめる真剣な眼差しや歌声に表れ、ホールいっぱいに美しいハーモニーが広がりました。また、2日目の生徒会ステージでは、劇やダンス、歌、意見発表、吹奏楽演奏等、個性や得意なことを生かした発表で大いに盛り上がりました。出演する生徒、係の生徒、鑑賞する生徒、立場は様々ですが、「みんなで楽しい時間になりたい」という思いが一つになった時間でした。



このような行事の様子の背景には、日々の授業や学校生活において大切にしている「自ら考え、表現し、協働する力」があります。本校では、生徒が自分の考えをもち、それを言葉にして伝え合いながら学びを深め

ていく授業づくりを大切にしています。タブレット端末を使って意見を共有したり、友達の考えにふれて新たな気づきを得たりする場面が、教室のあちこちで見られるようになりました。「なるほど、そういう考え方もあるんだね」「私はこう思うよ」といったやりとりが自然に交わされる中で、生徒たちは互いの違いを認め合いながら、自分の考えを磨いていきます。私たち教師もまた、授業研究や研修を通して、よりよい授業づくりに向けて日々学び合っています。

こうして、教室の中で育まれた力が、行事や日常生活の中でも生かされていると感じます。生徒たちは、仲間とともに考え、支え合いながら、様々な場面で自分の力を発揮しています。その姿に、私たちも励まされ、もっとよい学びの場をつくっていききたいという思いを新たにしています。



年の瀬を迎えるこの時期、生徒たちには一年の歩みを振り返り、自分の成長を感じながら、新しい年に向けてまた一步を踏み出してほしいと願っています。保護者の皆様、地域の皆様には、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。今後ともよろしくお願いいたします。

《3学期の予定》

- 1月 8 日(木) 始業式、書初大会
- 1月 14 日(水)・15 日(木) 3年 保護者会
- 1月 20 日(火) 入学説明会(令和8年度入学生)
- 2月 5 日(木) 私立高校一般入試
- 2月 10 日(火)・12 日(木)・13 日(金) 3年 期末考査
- 2月 13 日(金)・16 日(月) 3年 保護者会
- 2月 18 日(水)～20 日(金) 1・2年 期末考査
- 3月 5 日(木)・6 日(金) 県立高校一般入試
- 3月 12 日(木) 卒業式
- 3月 24 日(火) 修了式

※学校ホームページ更新中→



